

愛知県生活基盤施設耐震化等補助金チェックシート

計画の名称:	設楽町簡易水道事業耐震化等整備計画
事業者名:	設楽町

チェック欄

I 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 第二次設楽町総合計画や設楽町地域防災計画との整合を図りつつ、老朽管を更新することで水道施設の耐震化を図るものである。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 当地域は、大規模地震対策特別措置法及び南海トラフ地震対策特別措置法の強化地域及び推進地域に指定されており、老朽管更新による耐震化は喫緊の課題である。	○
II 計画の効果・効率性	
①事業計画の目標と定量的指標の整合性 目標に掲げている老朽管の更新について、PI(業務指数)である管路の耐震化率、管路の耐震適合率、配水池耐震施設量率、電気計装設備がしゅん工して10年以上経過した施設の更新率を定量的指標としており、目標と整合は図られている。	○
②定量的指標の明瞭性 定量的指標は、PI(業務指数)を用いており、広く住民にわかりやすいものとしている。	○
③目標と事業内容の整合性 事業内容は布設後20年以上経過した老朽管の更新、耐震診断した配水池を優先順位ごとに再構築、しゅん工して10年以上経過した電気計装設備の更新であり、目標と整合している。	○
④事業の効果の見込みの妥当性 本事業で、老朽管の更新とともに耐震管を採用することで、震災時にも安定供給することができ、老朽化した配水池の安定性が図られ、電気計装設備の更新が行われることで維持管理の効率化することができる。	○
III 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等) 事業実施に向けて、関係機関等への協議は、着手までに完了する見込みである。	○
②地元の機運(当該事業に係る要望等) 町議会で議員から耐震化対策や老朽管更新に関する質問があり、地元からの関心が高い。	○